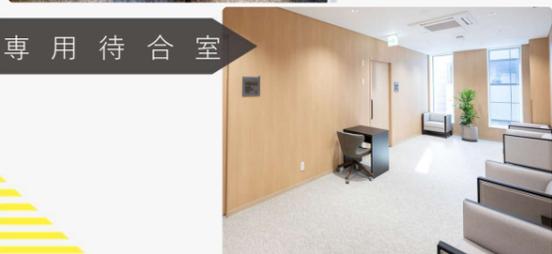


心臓病の早期発見・予防をしましょう！
循環器ドックのご案内



特別診察室



専用待合室

いつもの健康診断だけでは心配な方に

定期健診では見つけにくい「心臓の異常」を経験豊富な
チームでしっかりチェックします

専門医による継続的なサポートで安心感を

健康に見えても見えないリスクは潜んでいることも

ご家族や大切な方の心臓チェックも榊原で

自分は通院しているけど家族に心臓病がないか心配
ご家族などにぜひ一度心臓チェックをおすすめください

詳細はホームページをご覧ください

榊原記念病院附属クリニック 検診センター

☎ 0570-00-5277

—お電話またはメールにてお申し込みください—



❁ 榊原記念病院附属クリニック ※原則予約制です

受付時間(初診の方)：月～金曜 8：30～11：00 13：30～16：00 土曜 8：30～11：00

(再診の方)：月～金曜 8：30～12：00 13：30～16：30 土曜 8：30～12：00

所在地：〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-4

榊原記念ビルディング 1～3階

電話番号：0570-00-5277

当院ウェブサイト：<https://sakakibara-heart-cl.jp/>



QRコード



【電車】

京王新線、都営大江戸線、都営新宿線

新宿駅 徒歩2分(6出口)

JR各線、京王線、小田急線

新宿駅 南口 徒歩4分

丸ノ内線

新宿駅 徒歩8分(B14出口)

*A1出口と5出口はエレベーターがあります



【車】

高速道路からアクセス

首都高速4号新宿線 新宿出口 3分

*駐車場はありませんので近隣駐車場をご利用ください



榊原記念病院附属クリニック 広報誌

HEART NAVI

はーとなび

第13号

令和7年

9月

編集・発行 | 榊原記念病院附属クリニック広報委員会

渋谷区代々木 2-5-4 榊原記念ビルディング 1～3階 TEL 0570-00-5277

～胎児心エコー検査開始のお知らせ～

榊原記念病院附属クリニックでは「胎児心エコー検査外来」を始めました。

お腹の中の胎児の心臓は、非常に小さく複雑なかたちをしていて、しっかりと観察するためには専門的な高い知識と技術が必要とされます。

それが「胎児心エコー検査」です。

胎児心エコー検査は、図1の様に母体のお腹から超音波(エコー)を使って、望遠鏡で星を見るかの様に「非常に小さい胎児の心臓」を拡大して心臓を観察する検査です。



榊原記念病院

小児循環器内科主任部長・院長補佐

松井 彦郎

【経歴】

1995年 名古屋市立大学医学部卒業

1995年 神奈川県立こども医療センター 小児科レジデント

1997年 松戸市立病院 小児医療センターレジデント

1998年 神奈川県立こども医療センター 循環器科医員

2003年 長野県立こども病院 循環器小児科医員

2006年 イギリス Imperial College London

Clinical Research Fellow

2010年 長野県立こども病院 循環器小児科医監

2011年 長野県立こども病院 小児集中治療科部長

2017年 東京大学医学部 小児科 講師・准教授

2025年 公益財団法人 榊原記念財団 附属 榊原記念病院

小児周産期診療部長・小児循環器内科主任部長

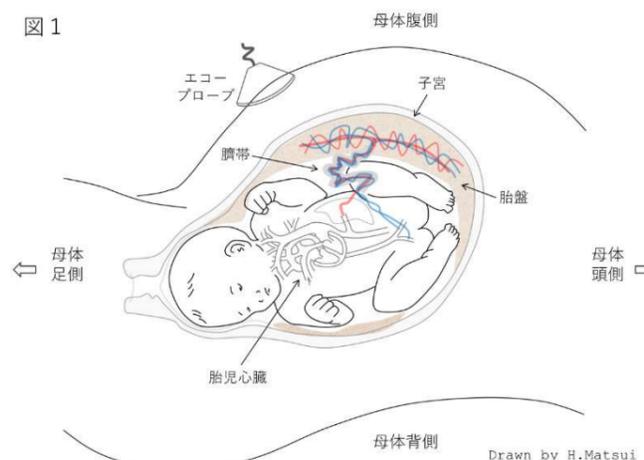


図1

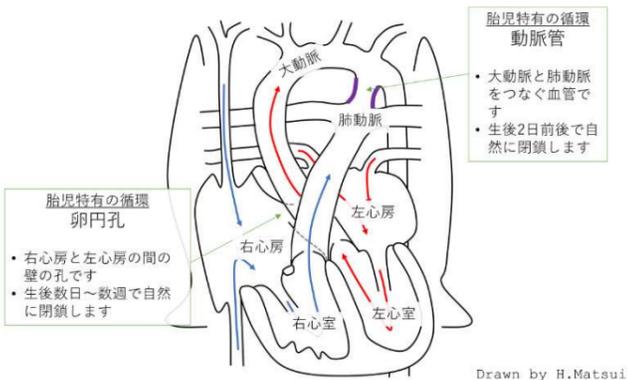
母体腹側
母体背側
母体足側
母体頭側
胎児心臓
胎盤
子宮
臍帯
エコープローブ

Drawn by H.Matsui

心臓は体に血液を送るポンプです。

正常の胎児心臓は図2の様な複雑な形と血液の流れになっています。

図2



心臓は基本的に心房と心室が左右にひとつずつあり、左右の心室からは大動脈と肺動脈の大血管がそれぞれ出ています。

心房と心室、心室と大血管の間には弁があります。

また胎児期には卵円孔と動脈管という「2つの胎児特有の循環」があり生後とは異なる血液の流れになっています。

この複雑な胎児心臓の基本的な形は、妊娠約10週頃にはできあがっており、お腹の中で少しずつ大きくなっていくことで、妊娠週数が進んでくると観察できるようになってきます。

胎児心臓の観察はいつでもできるというわけではありませんが、早くて16週以降から出産までというのが一般的です。

観察に適した週数は19週から30週頃ですが、その週数以外でも常に可能な限りの観察を行っています。

図3は在胎22週の胎児心臓です。

胎児心臓の観察では、胎児の位置・向き・週数によって見え方が大きく異なります。

例えば胎児が背中をむけていると背骨の影になって心臓が見えにくくなることや、お腹をむけて

図3



いと手足により心臓が影に入ってしまうこともよくあります。

週数が早いと心臓はより小さく観察が難しく、逆に週数が経ってくると骨が成熟して観察が難しくなるという、胎児心エコー検査には状況に応じた臨機応変な対応が必要になります。

全国的・世界的にも、胎児心臓のスクリーニングは産科の医師が担当して、より詳細・確実な専門的評価や確認は、高い技術を有する胎児心臓医が役割を担っています。

「胎児の心臓をしっかり確認したい」、「できることはやっておきたい」といったニーズに応えて、榊原記念病院附属クリニックでは胎児の心臓をしっかり専門医師が確認する「胎児心エコー外来」を開設しました。

当クリニックで胎児心エコー検査を担当するのは日本・海外と胎児循環器診療の豊富な経験と実績をもつ松井医師です。



▶松井医師の紹介はこちらから

「胎児心エコー外来」は妊婦さんであれば、どなたでも受診できます。

ご希望ありましたら外来予約を宜しく願います。



▶胎児心エコー検査の予約はこちらから

漢方外来始まりました！



近年、現代医学の進歩によって多くの病気が早期に発見され治療できるようになってきました。しかしその一方で、症状があっても血液検査データやレントゲンなど画像検査で異常が現れない病気や、現代医学では効果が不十分だったり、副反応が出てしまい継続できないケースも少なくありません。

2千年以上の歴史を持つ漢方医学は、個々の体質を重視しながら「四診(ししん)」という独特の診察方法を通して、乱れた体内バランスを整え本来人間が持っている自然治癒力を高めることで多くの疾患や症状を緩和することが期待できるので、現代医学を補う治療法として注目されています。

漢方医学は西洋医学とは異なり、臓器や領域は限定されませんので、循環器疾患以外の例えば日常の体調不良や胃腸障害、慢性的な頭痛やめまい、手足のしびれや腰痛、不眠症や倦怠感、女性特有の症状や男性も含め更年期障害や自律神経障害など多岐に渡り対応が可能です。

高齢化とストレス社会が今後も益々進んでいくことが危惧されますが、漢方治療を通して皆様の日々の生活の質が向上できるように努めてまいります。

どんな些細なことも是非ともご相談ください。



毎月第1, 第3土曜日午前

担当医：張 民浩 (ちょう たみひろ)

元東京女子医科大学附属東洋医学研究所医師

元東海大学医学部東洋医学講座講師



榊原記念病院附属クリニック